助成者	駒井　幸雄	活動期間	2012年4月～2018年3月
所属機関	大阪工業大学工学部環境工学科	職　名	教授

インドネシア熱帯泥炭域（中央カリマンタン州パランカラヤ地域）の森林と水環境の保全のための環境教育の提案と実践活動の支援

【活動場所】インドネシア　中央カリマンタン州パランカラヤ市
【事業目的】 インドネシア熱帯泥炭域（中央カリマンタン州パランカラヤ地域）では、大規模な農地開発事業により、泥炭湿地の乾燥化に伴う森林生態系の破壊とそれに付随した深刻な森林火災が、地域住民の自然と調和した森林域での生活を難しいものにしている。本事業は、現地パランカラヤ大学のスタッフと協働して、森林と水環境保全のための環境教育と実践活動をおこない、泥炭湿地と熱帯雨林の回復と保全を目的に実施する。

パランカラヤ大学でのシンポジウム

中学校でのワークショップ（細菌検査）

【活動内容】
①パランカラヤ大学ワークショップ（6回）:将来指導的立場となる大学生へ啓蒙目的で開催。森林と水環境保全に関するポスター発表の公募を行い優秀作品を表彰。
②小中高校生への環境教育（4回）:水質や細菌検査等の実験を取り入れた学習
③森林と水環境調査：「市長の森」の森林と水環境、漁業育成のため調査活動支援
④パランカラヤ大学のGreen Campus Program（有用樹種育成）への支援
⑤環境教育テキスト作成：実践した環境教育の内容をベースに、環境教育テキスト（水質試験、土壌汚染、廃棄物処理など）を作成した。（英語版）

【活動成果】
パランカラヤ大学のワークショップは多くの学生が参加して活発な質疑が行われた。大学の有用樹脂育成プロジェクトへの支援を含めて、当事業は地域の熱帯雨林保護・保全活動に大きな影響を与えた。環境教育テキストは、地域特性を踏まえて地元で入手可能な材料や用具を使って説明されており、今後はインドネシア語版も作成して活用する予定である。引き続き、当活動が継続され進展することを期待したい。